

学校だより



とき・あかし錦城

2020年(令和2年)
6月26日(金)(第54号)
明石市立錦城中学校

梅雨空が続きます

…… 学校再開から4週間経ちました ……

学校長 永田 浩史



4月～6月のカレンダー（毎年、ヤクルトのカレンダーを使っています）を見てみると、離任式、東北播磨校長会総会、交通安全教室、PTA総会、聖火リレー、修学旅行、市総体など――線が消した予定ばかりが目立ちます。学校外でも様々な会議や総会などが中止となり、例年とは大きく異なったカレンダーとなっています。3密を防ぎ、集まることができないので、書面配布に代えたり、流行りのZoomで会議を行ったりと新しい形を模索している状況です。保護者や地域の皆さまにおいても同様のことではないかと思えます。

6月1日に学校を再開し、4週間が経ちました。1年生はようやく中学生としての学校生活に馴染んできたころです。教科ごとに先生が変わる学習、移動教室、中学校給食、委員会活動、そして部活動も始まりました。教室、休み時間、昼休み、放課後と生き生きとした姿が見られることはうれしいことだと感じます。マスクをしているのでなかなか表情が分かりにくいのですが、じっくりと落ち着いて取り組んでいます。

保健室の木原先生に話を聞くと、



「生徒たちはよくがんばっていますね。でも気温も高くなり、梅雨の湿気もあるので疲れがでてきている生徒も増えてきています。水分を多めにとって、休みの日には十分な休養と睡眠をとってくださいね。」

梅雨空でジメジメとした毎日が続きますが、一日一日新しい朝がやって来ます。新鮮な気持ちで過ごしていきましょう。ご家庭でも子どもたちへの声かけ、健康観察等のご支援をお願いします。

※⑦校時授業の日は、1コマの授業時間を45分で運用しています。また、3年生は朝の10分間をモジュール学習として活用しています。

10分×5日=1コマ **理科の学習（朝のモジュール）** →



梅雨晴れやところどころに蟻の道

一八八八(明治二一)年六月二十六日

正岡子規

梅

バイ・うめ

●木と音を表す毎(バイ:大きい意)とからなり、大きな木の意味を表す。借りて、「うめ」の意味に用いる。

今後の予定をお知らせします

コロナ関連の状況により、中止・延期等の変更もあります。

- (1) 明石市中学校種目別大会（市総体の代替大会） 7月25日(土)26日(日)他予備日
※試合形式、参加生徒、応援等については市教委、各種目で検討・調整中です。
- (2) 体育大会 9月12日(土) 午前のみ
※実施内容:開閉会式、各種リレー、紅白対抗種目、生徒会種目、マスゲーム等
※保護者の方の観覧については、検討中です。
- (3) 文化発表会 10月23日(金) 学年合唱・展示発表等を検討中です。
- (4) 連合音楽会（市民会館） 中止
- (5) 修学旅行 9月15日(火)～17日(木) 沖縄方面 14日(月)事前指導 18日(金)代休
- (6) 新人総体 9月26日(土)～27日(日)
- (7) トライやる・ウィーク 1日単位の地域・体験活動として実施予定。
※10月30日(金)キャリア教育の一環として「ものづくり大学校」でも活動します。
- (8) 幼小中合同避難訓練 中止(隔年で中学校へ避難する訓練を実施します)
- (9) 2学期 8月17日(月)～12月24日(木)

◆後日、年間の行事予定をお配りします。

とき・あかし 54 「あなたがあの時」 平和の詩

6/23 沖縄全戦没者追悼式

▲6/24の朝刊に沖縄県の高校3年生高良朱香音(たからあかね)さんの平和の詩が掲載されました。

「懐中電灯を消してください」
一つ、また一つ光が消えていく
真っ暗になったその場所は
まだ昼間だというのに
あまりにも暗い
少し湿った空気を感じながら
私はあの時を想像する

あなたがまだ一人で歩けなかったあの時
あなたの兄は人を殺すことを習った
あなたの姉は学校へ行けなくなった

「はい、ではつけていいですよ」
一つ、また一つ光が増えていく
照らされたその場所は
もう真っ暗ではないというのに
あまりにも暗い
体中にじんわりとかく汗を感じながら
私はあの時を想像する ……

▲沖縄戦を体験した世代が戦争を語り、それを次の世代に伝えていく若い世代がいることに心が動きました。ネットにも掲載されています。ぜひ、全文を読んでください。

◆ PTA 活動について ◆

▲ようやく令和2年度のPTA活動が動き出します。先日、PTA総会に関する資料とともに、書面表決の用紙も配布いたしました。▲前日には、新旧の本部役員の方が図書室で総会資料の配布準備。今年度の活動について、どのような活動が可能なのか、手を動かしながら話をされていました。活動期間が例年よりも短く、制限もありますが、生徒たちのために、地域のために、学校のために今できることを進めていきましょう。よろしくお願いいたします。

